

# ありがとう

鳥取県 じょうでんじ 譲伝寺住職 平澤 峻山

今朝は、ありがとうというお話です。

「ありがとう」という言葉は、人の心に響き周りの人達にこだまする美しい言葉です。こちらが「ありがとう」と言うと言われた相手は「こちらこそ、ありがとうございます」と言い、心と心が響きあいこだましていきます。仏さまは「ありがとう」がこだまする社会が大好きです。

あるお檀家のおじいさんが亡くなりました。柩の上の白い布に家族や親族の寄せ書きが書いてありました。その寄せ書きに亡くなったおじいさんのお孫さんが「おじいちゃん、いつも優しく見守っていてくださりありがとうございました」と書いていました。私は「うれしいだろうなあ、おじいちゃん」と心の中で思いました。これは、見送る側の「ありがとう」でした。

一方、見送られる側の「ありがとう」です。私の敬愛する和尚さんが、癌になり、病院で治療を受けていました。いよいよもう打つ手がないと診断された時、家族は和尚さんを住み慣れたお寺に連れて帰り看病しました。五日程経ち、亡くなる前日に和尚さんは、皆を枕元に呼び寄せ「みんなのお陰で私の人生幸せでした。ありがとう、さようなら」と言い遺して和尚さんは息を引き取りました。「ありがとう、さようなら」いい言葉ですね。見送る人の「ありがとう」と見送られる人の「ありがとう」がこだまする人生でおわりたいものです。